

長崎県幼児教育センターだより



No. 18



2025. 8. 19



幼保小連携・架け橋期のカリキュラム作成進んでいます！

大村市幼保小合同研修会

6月30日

大村市の小学校校長、幼児教育・保育施設長を対象に研修が行われました。小学校校長の実践発表や行政からのカリキュラム作成方針説明など今後の幼保小連携の進め方について理解が深まりました。その後の協議では、小学校区での「めざす子ども像」を幼保小で考えるなど、大村市は初めての試みで大きな一歩を踏み出した研修会となりました。



長与町架け橋期のカリキュラム作成委員会

7月23日

長与町は、昨年度から幼保小連携推進協議会が設置され、今年度はカリキュラム作成委員会での検討が始まっています。この日は、カリキュラムに記載する活動と指導上の配慮事項を考えました。施設類型が複数の幼児教育・保育施設は活動のねらいを考えることに難航しました。しかし、5歳児の活動のねらいをそろえることは小学校への円滑な接続においては重要であることがわかりました。



佐世保市生活科・総合研究部会

8月7日

花高幼稚園において佐世保市立小学校の教科別部会研修として開催されました。この日は、保育参観後に気付きの共有や小学校生活科へのつながりを考えるグループ協議がありました。小学校校長からも次期学習指導要領に向けて「探究的な学び」の重要性が増し、子どもの主体的な学びの促進がより一層求められるとお話がありました。幼児期からの学びの芽を育て、資質・能力をどのようにつけていくか、考える良い機会となりました。



今年もやいます！市町巡回研修(要録)



幼児教育の質の向上をはかるため、毎年テーマを決めて市町を巡回し、研修会を開催しております「市町巡回研修」を、今年度もテーマ「小学校等への接続を意識した要録の書き方」として行います。昨年度は、県内714名の先生方にご参加いただきました。多くの先生方と研修を深めることができましたことを大変うれしく思います。

今年度は、年長担任や昨年度この研修を受けていない方を優先としたいと考えております。ただいま、日時・場所等を市町担当者と調整しておりますので、開催案内が届きましたらご検討をお願いします。なお、昨年度の実施状況や担当者との調整により、今年度は開催を見送る市町もございますことをご容赦ください。

令和7年度長崎県保育士等キャリアアップ研修のお知らせ

県が実施する令和7年度長崎県保育士等キャリアアップ研修は、「株式会社保育のデザイン研究所」に委託して実施します。

8月下旬に受講申し込みを開始します。詳細は県ホームページをご確認ください。

(県ホームページ リンク先)

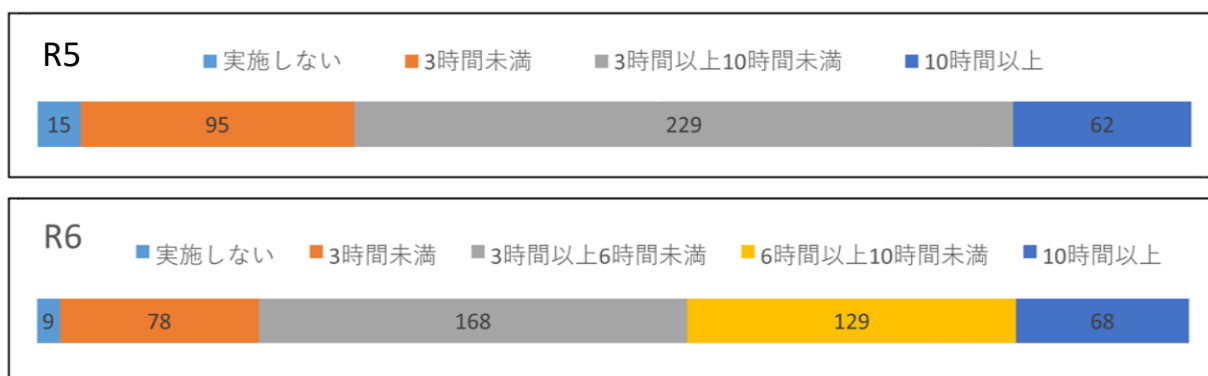
[処遇改善加算Ⅱに係る研修（長崎県保育士等キャリアアップ研修、実施機関の指定、実施主体の認定など）](#) | 長崎県

(文責：高田 敦)

実態調査

毎年、県独自で実施している実態調査にお忙しい中ご協力ありがとうございます。

その中に、平均的な1週間（月～金5日間、9時から12時までの3時間）の自由保育の合計時間を尋ねた設問があります。保育者主導型の一斉保育と子ども主体の自由保育の割合を知るための設問です。R5とR6の結果は以下のとおりです。R5の回答数が401でR6が452で、回答いただいた園が増えています。



今の幼児教育保育の流れは、「子どもの主体性を育む保育」「保育者が準備した環境に、子どもが自ら興味をもち、意欲的に環境に関わり遊び込む中で、子どもが多くのことを経験し、それが学びになる」という考えになっています。調査から、長崎県でもその流れが広がっていることが分かります。「子ども主体の保育に変えていきたい」という訪問支援の依頼が増えていることから感じます。実態調査の設問は「自由保育」と短い言葉で表現されていますが、要するに子どもが生き生きと意欲的に遊び込める保育を展開してほしいという願いです。

(センター長 室野)